

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



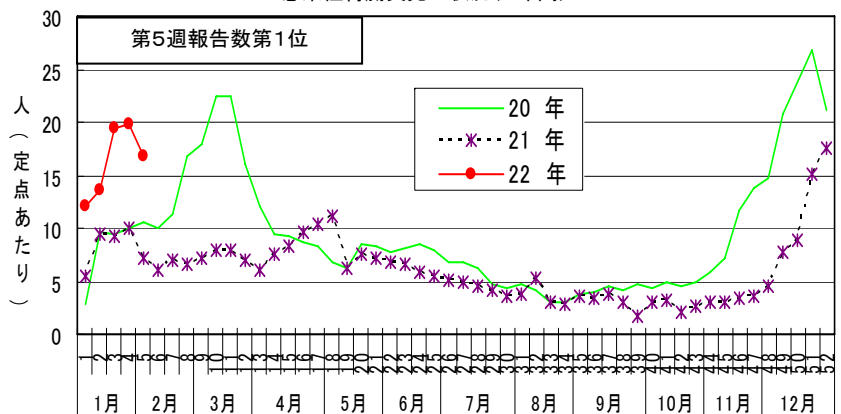
KAWASAKI CITY

平成22年2月1日（月）～2月7日（日）〔平成22年第5週〕の感染症発生状況

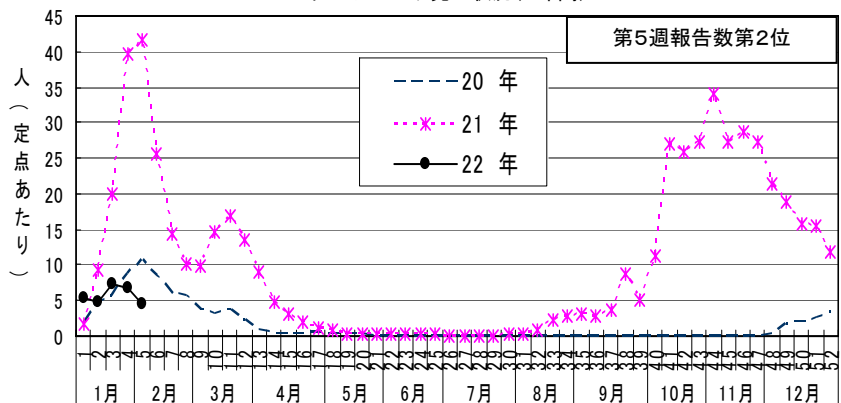
第5週で報告数の多かった疾病は、1) 感染性胃腸炎 2) インフルエンザ 3) 水痘となっています。

感染性胃腸炎が定点あたり17.31人と患者報告数は減少していますが、区別では川崎区と多摩区で警報基準値である定点あたり20を超えています。インフルエンザも、定点あたり4.60人で前週と比較して減少しました。ただし、第5週も4施設において学級閉鎖の報告がありました。今後も発生動向に注目する必要があります。

感染性胃腸炎発生状況(3年間)



インフルエンザ発生状況(3年間)



腸管出血性大腸菌感染症に気をつけましょう！

「腸管出血性大腸菌感染症（O-157）」という言葉は一度は聞いたことがあると思います。夏に多く報告のある感染症ですが、今年は真冬の第5週に2件の発生がありました。主には生の牛肉を食べることによって感染します。日頃からよく加熱する習慣を徹底しましょう。

●腸管出血性大腸菌ってどんな菌？

大腸菌の中でベロ毒素という毒素を産生し、激しい腹痛、出血を伴う腸炎、溶血性尿毒症症候群（HUS）等を起こす大腸菌で、O157がよく知られていますが、O26、O111、O128、O145などがあります。

●どうやって感染するの？

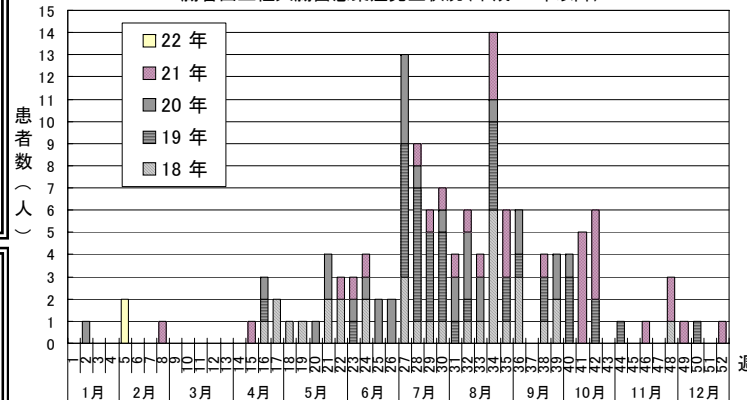
大腸菌に汚染された食品（主に生肉など）や水を介して経口感染します。また、患者や保菌者の便からの2次感染もあります。

●気をつけたいこと。

腸管出血性大腸菌は熱に弱く、75℃1分間の加熱で死滅します。焼肉を食べる時は、生の肉をさわる箸と食べる箸は別のものを使い、肉はしっかり加熱しましょう。

高齢者や乳幼児など抵抗力の弱い方は、レバー等の食肉を生で食べたり、加熱不十分な食肉（牛タタキ等）を食べたりしないようにしましょう。また排便後、食事の前、下痢をしている子供や高齢者の排泄物の世話をした後などは、十分に手を洗いましょう。

腸管出血性大腸菌感染症発生状況(平成18年以降)



必洗焼手

川崎市
手洗係



手洗い・加熱は十分に